

診療情報を利用した臨床研究について

日本赤十字社医療センター呼吸器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2012年8月から2022年7月の間に日本赤十字社医療センターに入院・通院した20歳以上の肺大細胞神経内分泌癌の患者さん

【研究課題名】

進行期大細胞神経内分泌癌の臨床的検討: 多施設共同後ろ向き研究

【研究の目的・背景】

《目的》

2012年8月1日から2022年7月31日に虎の門病院、東京医科歯科大学附属病院、坪井病院、日本赤十字社医療センターに入院した大細胞神経内分泌癌の患者さんについて後ろ向きに観察し、臨床的特徴を検討することを目的とします。

《研究に至る背景》

大細胞神経内分泌癌は肺癌の3%を占める比較的稀な疾患です。間質性肺炎は高頻度に肺癌を合併し、化学療法中の急性増悪や薬剤性肺障害の危険因子とされています。間質性肺炎合併の非小細胞肺癌や小細胞肺癌に対しての報告は認めますが、間質性肺炎合併大細胞神経内分泌癌の予後の報告は乏しく、明らかではありません。この研究を通してこれらの特徴を明らかにしていきたいと思えます。

【研究期間】

病院長承認日 ~ 2028年3月

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、既往歴、処方歴、血液検査、呼吸機能検査、画像検査、生理検査、病理組織検査、免疫染色、治療経過などを利用します。いずれもすでにこれまでの治療経過で得られた情報を用いますので、これから新たに患者さんに負担がかかることはありません。もしこのご案内をお読みになり、詳細な説明を希望される場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

【研究代表者】

虎の門病院 呼吸器センター内科 三ツ村 隆弘

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：呼吸器センター内科 三ツ村 隆弘

研究機関の長：院長 門脇 孝

【共同研究機関における研究責任者・研究機関の長】

東京医科歯科大学病院

研究責任者：呼吸器内科 本多 隆行

研究機関の長：医学部長 東田 修二

慈山会医学研究所付属坪井病院

研究責任者、研究機関の長：院長兼呼吸器科部長 杉野 圭史

日本赤十字社医療センター

研究責任者：呼吸器内科 栗野 暢康

研究機関の長：院長 中島 淳

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

日本赤十字社医療センター 呼吸器内科 栗野 暢康
電話 03-3400-1311 (代表)

